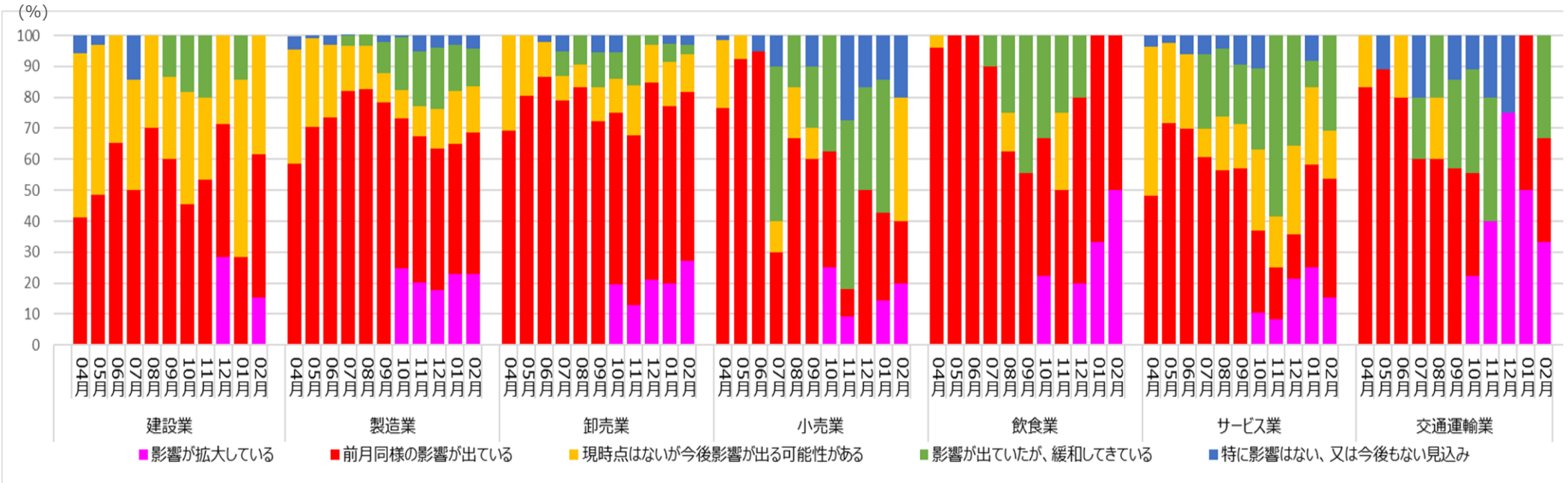


# 新型コロナウイルス感染症の市内経済への影響（令和3年2月度調査）

※市内企業へのアンケート、ヒアリング調査結果から

国の緊急事態宣言再発令や県の警報継続を受け、厳しい状況が高止まりしています。



（令和3年2月度 複数回答）

内訳	建設業	製造業	卸売業	小売業	飲食業	サービス業	交通運輸業
製品・サービス等の受注・売上減少	77%	84%	88%	40%	50%	77%	100%
自社の生産拠点・仕入れ先の変更による調達コスト増	8%	5%	6%	0%	0%	0%	0%
サプライチェーン（供給網）への打撃による製品等の納期遅れ	0%	10%	12%	20%	25%	0%	0%
消費マインドの悪化に伴う客数減少	23%	5%	18%	60%	50%	8%	33%
従業員の休暇取得に伴う人手不足による企業活動の停滞	0%	0%	3%	0%	0%	8%	0%
従業員や顧客の感染予防策等に伴うコスト増	8%	12%	12%	40%	25%	31%	33%

## アンケート調査を通じた3か月後の業況見通しについての主な声

- ・大雪のため、今年は国内が好調だが、海外への輸出はコロナによるさまざまな制約により減少。（製造業）
- ・国内外共に法人向けは依然として不振であるが、ネット販売は（個人向け）が好調で回復基調（製造業）
- ・ホテル・レストラン業界の営業時間短縮及び休業による受注減（卸売業）
- ・インバウンド需要の蒸発と来店客減少による販売先の苦境など、リスクを伴う発注回避の悪循環から脱出できていない。（卸売業）
- ・店売はあまり影響はないが、イベントや祭りの中止が見込まれ、先行きが見えない。（小売業）
- ・家庭用は例年並みだが、工業用の景気は回復していない。（サービス業）